

食育指導員を養成し地域の食育活動を推進

事業実施主体:京都市(京都府)

京都市



- 地域における食育活動を総合的・効果的に推進するため、京都市民健康づくり推進会議食育推進部会を開催し、行政、食育関係団体・機関、食育指導員が連携して、食品衛生、栄養改善、農業生産、食文化等の分野における食育活動を行うリーダーとなる食育指導員を養成。
- 食育指導員活動(研修会、報告会、食育活動等)を通じて食文化の保護・継承、日本型食生活等の普及、地域の食品の価値の再発見等を促進。

【取組の内容】

- 食育指導員研修会の開催
 - ・会場とオンラインの併用による研修会を2回開催
延べ92名(会場51名・オンライン41名)参加。
 - ・講話内容
「京漬物の伝統とこれから」
「あなたも映える!Instagram発信 ～まずは始めてみよう～」
「地産地消は畑で生まれる」
・京都市公式サイト「KYOTO Vege Style」や食育指導員の活動を紹介。
- 食育指導員の活動周知
 - ・リーフレット「食育指導員が食育をお手伝いします」(A4・8ページ)を3,000部作成。
 - ・区役所支所保健福祉センター、市立図書館、小学校、保育所・幼稚園等583か所に説明のうえ配布。



食育指導員研修会の様子



活動メニューリーフレットを説明・配布する様子



リーフレット表紙

【取組の成果】

- 食育指導員が日本型食生活や食文化、地元産野菜の良さなどについて理解を深め、地域の食育活動に活かす知識・技術を習得することができた。
- 食育指導員の活動内容を周知することで、食育活動の依頼につながるだけでなく、保育園等での自主的な食育活動の参考になり波及効果があった。
- 食育指導員活動の内容や成果をホームページ「京・食ねっと」等で発信し、食育の普及啓発につながった。

【事業の目標】

- 目標:主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合を増やす。

現状値 36.4% → 取組実施後 98.9%



- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合の増加。

現状値 73.5% → 取組実施後 80.0%

